

防災

ひらやま さとし
平山 諭 議員が問う

消防団員確保の対策は 報酬アップ・負担軽減など検討中

質問を終えて

私も16年間消防団に入っていました。やり甲斐もあり、多くの仲間を増やす事が出来た消防団活動を私自身も広げていきたいです。

映像はこちら



平山 消防団は、地域防災の中核として重要な位置づけであり、団員の確保は喫緊の課題である。消防団活動を維持していく為の現状と現状の取り組み、今後の施策は。

総務課長 現在の団員不足は全国的な問題。根本的な解決策が見出せないのが現状。

平山 団員確保の為に現在の取り組みは。

総務課長 管轄行政区長の紹介、直接の勧誘、広報啓発活動、広報誌を利用した活動状況等の報告を行っており、須恵町のホームページ内に消防団のページ作成を進めているところである。

平山 その取り組みによって団員数は増えているか。

総務課長 減少傾向である。

平山 団員減少の要因は。

総務課長 自営業・農業関係者の減少、サラリーマンの増

加、消防団員に対する悪いイメージの定着、時間的拘束、役場団員数の頭打ちなどが要因だと考えられる。

平山 消防団活動に対して、町への意見や要望などがあるか。

総務課長 感謝や激励の言葉と共に、拘束時間が長く家庭に影響がある等の相談もある。

平山 家族の負担が大きいという事は現実である。消防団活動の継続については、報酬アップと負担軽減が必要。報酬を見直す考えは。

総務課長 報酬等については、他市町村を参考に良い制度があれば取り入れていきたい。

平山 行政主導での、消防団活動の負担軽減への考えは。

総務課長 行政主導で負担軽減できるものは善処する。

平山 10年後も消防団を継続させていく為に町長は何が重

要であると考えるか。

町長 ボランティア精神を前面に打ち出した考え方だけでは世の中には通用しない。何がインセンティブなのかを明確にして、それで増えるか分からない。毎月の給与制にするなど、やらなければならぬと思う。その方策を今練っている状況である。



町・地域の防災リーダー！
安全を守るヒーローとして活躍

※質問した議員自身の責任でまとめた原稿を、そのまま掲載しています。詳細は、映像配信をご覧ください。

しろうず はるお
白水 春夫 議員が問う

教育

不登校児童生徒と教育機会確保法 個々に合わせて対処している

質問を終えて

不登校児童生徒を減らすために、個々に応じた学習や社会的自立に向けた支援を期待します。

映像はこちら



白水 教育機会確保法は、教育を受ける機会確保と学校以外の場所で、多様な学習活動の重要性についての法律である。不登校児童生徒で、本人の能力に応じた教育を受ける機会の確保、および教育水準の維持向上につながっているか。

学校教育課長 教育機会確保法に關して文科省は、周知を図るための八つのポイントを示している。当然学校では、不登校児童生徒に対して、本人の社会的自立に向け、家庭訪問等を繰り返しながら合意形成を図り、一人ひとりにあった学習の場を提供できるように努力している。

白水 不登校による児童生徒の学校復帰が困難なとき、従来の不登校対策を転換し、休養の必要性を認めながら、学校復帰が前提でないことへの理解浸透度合いについて問う。

学校教育課長 文科省の通知

は、教育機会確保法に基づき、学校に登校する結果のみを目標とせず、学校教育になじまない要因の解消、不登校の児童生徒が学校において適切な支援が受けられるように尽力することである。これを踏まえ、保護者や当該児童生徒への対応を行っており、教育委員会でも通知の徹底を図っていく。

白水 地域における拠点の重要性について問う。不登校児童生徒が、安心して教育を十分に受けられるように、各学校以外のところに、不登校特例校分教室の設置はできるか。

学校教育課長 本町では、不登校児童生徒に対応するために教育支援センター「やまもも」を設置している。お尋ねの不登校特例校分教室については、教員の配置を規定している義務標準法で、教室に確実に登室するという児童生徒の数が確定していないと、担当教員が配置されないことが

ら、全国でも数例の設置しかない状況であり、教師不足の状況では現実的ではない。



※質問した議員自身の責任でまとめた原稿を、そのまま掲載しています。詳細は、映像配信をご覧ください。